

議員全員協議会会議録	
1 開会日	平成29年 6月15日 午後 1時30分 開会 午後 4時41分 閉会
2 場 所	第1委員会室
3 出席議員	吉川重雄 坂田よう子 竹内恵美子 関 威國 三澤龍夫 奥津勝子 二宮加寿子 清田文雄 玉虫志保実 片野哲生 高橋英俊 鈴木京子 渡辺順子 柴崎 茂
4 説明員	町側出席者 中崎町長 栗原副町長 野島教育長 和田政策総務部長 森田参事（政策担当） 仲手川教育部長 齋藤総務課長 柳田副課長兼総務法制係長 曾根田財政課長 曾根管財係長 吉川税務課長 熊澤副課長兼町民税係長
5 職務のため出席した職員	局 長 大槻直行 書 記 波多野昭雄
6 協議等の事項	(1) 議会報告会の意見・要望等と町への情報提供について (2) 町議会議員と町長の同時選挙について (3) 大磯町職員の働き方改革の検討について (4) その他
7 その他	一般傍聴 なし

(1) 町長あいさつ

5月25日付けで任用した饗庭靖之農業振興担当参与の自己紹介があった。次の3件について、お知らせを受けた。

①「個人町民税・県民税特別徴収税額決定通知書の誤送付」について

H29年度個人町民税・県民税特別徴収税額決定通知書について、事務処理の誤りにより、本来送付すべきではない事業所に送付したため、マイナンバー等の個人情報漏えいする事案が発生した。

◎主な質疑

問：通知書を送付するまでに、マイナンバーは何名の職員がどの位の期間扱っていたのか。

答：税務課町民税係の4名が約4か月扱っていた。

問：誤送付された3事業所の3名分はマイナンバーを変更するのか。

答：直接会って変更の話をした。変更の手続き中である。

問：マイナンバーカードを作成した方の情報が漏えいした場合、行政が再交付の経費を負担すべき。そのようなシステムになっているか。

答：現状ではそのようなシステムになっていない。今後検討する。

問：町の信頼、事務の根幹を揺るがす事案である。

答：企業番号と個人番号を誤って付番した。人為的なミスである。

問：誰が責任を取るのか。

答：事故報告に基づき、処分を検討する。

意：責任の所在が確定した時点で、議会に報告を求めることとした。

②「大磯海水浴場の開設」について

7月2日（日）北浜海岸で海開き式を開催する。海水浴場の開設期間は、7月2日（日）から8月27日（日）まで。開設に当たり、「大磯海水浴場ルール」を策定し、安心して快適な海水浴場を目指す。

◎主な質疑

なし

③「第29回なぎさの祭典『夏!!大磯!!祭!!』」について

7月29日（土）「第29回なぎさの祭典」が開催される。オープニングに「朝倉さや」さん、メインに「hitomi」さんを迎え、コンサートを実施する。また、コンサート終了後に約1,000発の花火を打ち上げる。荒天の場合は、8月5日（土）に延期し、花火大会のみを実施する予定。

◎主な質疑

なし

(2) 町報告事項

①大磯町職員の働き方改革の検討について

本町では、ノー残業デーなどの取組みを実践する一方、業務過多による長時間労働も発生しており、その解消が大きな喫緊の課題となっている。職員一人ひとりが自らの働き方を見つめ直し、働きやすく、能力を発揮できる職場づくりを全庁的に検討し、抜本的な業務の改善とワークスタイルの改革を目指す。

◎主な質疑

問：検討する組織体を構築する時期は。

答：7月上旬までには設置する。

問：今後の改善、改革に向けたスケジュールは。

答：予算を伴うものは、予算作成時期までに。その他も年内までに方向性を出したい。

意：年内ではなく、上半期までに議会へ報告して欲しい。

担当職員の気持ちを大事にして欲しい。職員の働き方は、町民に影響を与える。如何に実践するかが大事。先行実施している団体に出向いて直接確認をするべき。

②平成 28 年度大磯町土地開発公社財務諸表等について

平成 28 年度事業報告書等の資料に基づき、説明があった。

大磯町土地開発公社に係る法人住民税について報告があった。

◎主な質疑

問：外 10 事業の内容は。

答：資料 7 頁に記載の各事業となる。

問：資料 11 頁に記載のある国府本郷 45 号線整備事業の進捗は。

答：今年度、担当課から買い替えの要望がある。

問：国府本郷 45 号線整備事業は買い替えにより整備するのか。工事は。

答：内容までは把握していないが工事は進めると聞いている。

問：代替用地として取得した石神台の買い替えにあたり、損出計上で不明瞭な部分がある。

意：7月の議員全員協議会までに事実関係を調べ、資料を作成し報告して欲しい。

問：法人設立届が見届けの状態、土地の売買は法的に問題ないか。

答：法人登記と法人設立届は別である。法人登記は正常にされている。

(3) 各委員会等の行事報告・予定について

「各委員会等の行事報告・行事予定」の配布により説明は省略。

(4) 報告事項

①委員長等からの報告

○議会運営委員会の概要・・・奥津委員長

5/26 (請願・陳情の取扱い・一般質問時間割)

○総務建設常任委員会の概要・・・片野委員長

6/5 委員会 (陳情第3号の審査)

○福祉文教常任委員会の概要・・・二宮委員長

5/22 協議会 (町立国府幼稚園の統廃合に伴う (仮称) 大磯認定こども園の新設工事について・大磯小学校灯油配管破損事故の経過報告について)

6/6 委員会 (請願第1号、陳情第4号の審査)

○議会だより編集委員会の概要・・・渡辺委員長

5/18 (第186号の反省・第187号の編集日程・掲載予定記事)

6/5 (第187号の割付・第187号の記事分担)

②監査委員からの報告・・・高橋監査委員

③農業委員からの報告・・・竹内委員

④ 5/22 県町村議会議長会 委員長・副委員長研修会・・・関議員・三澤議員・奥津議員・二宮議員・片野議員 (研修内容: 「質問力で高める議会力・議員力」土山希美枝 龍谷大学政策学部教授)

⑤ 5/31 全国町村議会議長会 正副議長研修会・・・吉川議長・坂田副議長 (基調講演: 「大震災における自治体と議会の使命」 (公財) 地方自治総合研究所 主任研究員 今井 照 氏、町村議会特別表彰: 北海道浦幌町議会、京都府精華町議会)

⑥ 6/1 県町村議会議長会 6月役員会・第1回臨時総会・・・吉川議長

⑦その他

(5) 協議事項

①議会報告会の意見・要望等と町への情報提供について

5月13日の議会報告会での意見・要望等について、記録概要に基づき意見等の分類を行った。

・議会の報告により完結したもの

・町長に対して意見等の申し送りをするもの

・議会の委員会等で調査・研究していくもの

※「申し送り」の対応については、意見等の内容により、町から調査研究し回答を求めるものと意見等として伝えるものに区分する。

②町議会議員と町長の同時選挙について

検討を続けてきた「町議会議員と町長の同時選挙」について、議会として検討を継続するか、終了するか協議を行った。

◎主な意見

- 選挙費用の削減が争点。無理をして議会を解散する必要はない。
- 町民への説明が難しい。議論を重ねるべき。
- 町長の考えや動向によって、何度も議会在町長に合わせるようになる。
- 疑問が解決されていない。検討を終了すると未消化である。
- 検討を終了する理由を明確にし、説明できるようにするべき。
- 検討結果の理由を議会の統一見解にする必要はない。

※公職選挙法における町長の任期等を精査し、次回の議員全員協議会で再度協議することとした。

③大磯町職員の働き方改革の検討について

5月16日の議員全員協議会に引き続き、町から「大磯町職員の働き方改革の検討」について報告を受けた。議会としてどのように対応するべきか協議を行った。

◎主な意見

- 議会が関与する問題ではない。
- 特別委員会を設置する。
- 町長の責任で決めること。
- 人事や働き方に関与するべきではない。職員の配置が間違っている。事務の進め方が合理的ではない。
- 取組みを注視する。取組みの成果を報告してもらう。
- 職員の健康管理、研修の実施、休暇の取得が優先事項。取組みの様子を見せてもらう。
- 時間外、途中退職などの実態把握、原因究明は必要である。

※町の取組み経過を見ていく。言うべきところは一般質問等で言っていく。

(6) 事務局からの報告

①視察の受け入れについて

6月22日(木)に青森県藤崎町議会がごみ減量化の推進について視察するために来庁する。

6月22日(木)に宮城県美里町議会が議員発議による政策提案型条例(エネルギー条例)の制定に至るまでの経緯について視察するために来庁する。

②議会改革度調査2016について

早稲田大学マニフェスト研究所から議会改革度アンケート調査の結果が公表された。全国(総合)32位、町村の部5位であった。

③その他

- ・平成 28 年度事務事業評価シートの配布について
各議員へ配付した。
※次回から各議員へ配付するのではなく、各委員会へ 1 冊ずつ、2 冊の配架とする。
- ・大磯町地域防災計画の更新について
法律改正に伴い、内容が更新されたため差し替えを行い、各議員へ配付した。
- ・新着図書のご案内について
各議員のボックスに毎月、新着図書（書籍、会議録など）のご案内をしているが、次回から図書コーナーへ配架（表示）することに変更した。

(7) その他

- ・次回の議員全員協議会は、7月14日（金）午後1時30分からの予定
-
-